

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町港町24
電話2-9772

社会人権・同和教育の取組

人権・同和教育を全ての教育活動の基底に据える。これは言うまでもなく、社会教育にもあてはまります。

社会教育においても、同和教育をはじめ身近にある人権問題解決のため様々な取組がなされています。各町村の担当者・推進者へ県が行っている支援について少し紹介したいと思います。

隠岐講座 推進役を育てる

8月28日・29日、9月9日・10日の4日間知夫村教育委員会において、「社会人権・同和教育指導者養成隠岐講座」が開催されました。

これまで、県が行う指導者・推進者養成の研修会は、東部と西部のみで開催されていましたが、今年度初めて隠岐で開催されました。



今回の講座の修了者を中心に各町村において人権・同和教育を進めていく仲間の輪が広がっていくことを期待しています。

今回の受講者だけが、各町村での人権・同和教育を行うものではありません。もちろん中心となっていたいただきたいと思いますが、「人権の視点ってやっぱり大事だよな。」と喋ってくれる仲間が必要ですよ。

隠岐圏域の社会人権・同和教育の担当者・推進者を対象として、資質と実践力を高めることを目的として行われました。7名の方が全課程を受講し、修了証を手にされました。

隠岐人権教育推進事業

この事業は、社会教育団体や役場や学校で人権・同和教育研修等を推進者・リーダーに集まっていたいただき、地域ぐるみでどのようにすればよいのかを考える会です。

書利の実践から学ぶ

平成25年度の隠岐地域人権・同和教育ネットワーク事業連絡協議会後期の協議において出された隠岐地域の人権課題の主なものとして、
①Iターン・Uターンの人に對する島民の意識
②障がいのある人への偏見や差別
③ソーシャルメディアにおける人権侵害
これらの課題に対して、各町村において具体的な対応を今年度行ってきました。海士町では、②の課題に対応する研修を企画し、実施しました。



海士町の取組

海士町では、今年度も、人権・同和教育推進協議会総会にあわせ研修会を実施。町内の人権課題に気付いてもらうことを狙いに、町内の就労継続支援B型事業所さくらの家本多美智子所長に講師を依頼。発表内容や構成など講師と社会教育担当と一緒に進めていきました。参加者には、身近にも人権課題があることに気付く研究になったと思います。

隠岐管内の全ての町村では、社会人権・同和教育の研修の機会を定期的にもっていきます。また、ここ数年、隠岐の人々が歴史的に人を差別せず、広い心で受け入れてきたことに誇りを持つことから、学びをスタートしよう。という隠岐独自の内容の研修会も行われるようになってきています。
(文責 佐々木)

進んでいますか？ ふるさと教育

6月11日に開催されたふるさと教育講座から、早4ヶ月が過ぎようとしています。この講座の演習では、中学校区ごとに9年間で系統性・一貫性を持った「ふるさと教育」全体計画・「一覧表」の作成の取りかかりました。ふるさと教育が目指すものは、次の3つです。

- 「学ば楽しさ」
- 「豊かな人間性や社会性」
- 「ふるさとへの愛着と誇り」

このねらいを達成するために、地域の「ひと・もの・こと」を有効に活用する。そのための道具が、全体計画や「一覧表」であると考えています。すでに小中学校で密な連携があり、ふるさと教育「全体計画・一覧表」は、ほぼできているので、更に充実したものをという学校。連携する学校のふるさと教育の取組をま

だ知る段階である。という学校もあり、進捗状況は様々です。

まずは、小中学校で顔を突きあわせて話し合うことがスタートです。「ふるさと教育はどうなってるの」と声を上げていただければと思います。必要とあらば、各町村の派遣社会教育主事をご相談に応じます。

2月末頃には、「平成26年度の実績報告書」と合わせて中学校区で話し合われた「平成27年度全体計画・一覧表」を提出いただきますようよろしくお願いいたします。



(文責 佐々木)